

アドバンス アクティブ スポンジ

尿検体の採取・輸送および保存



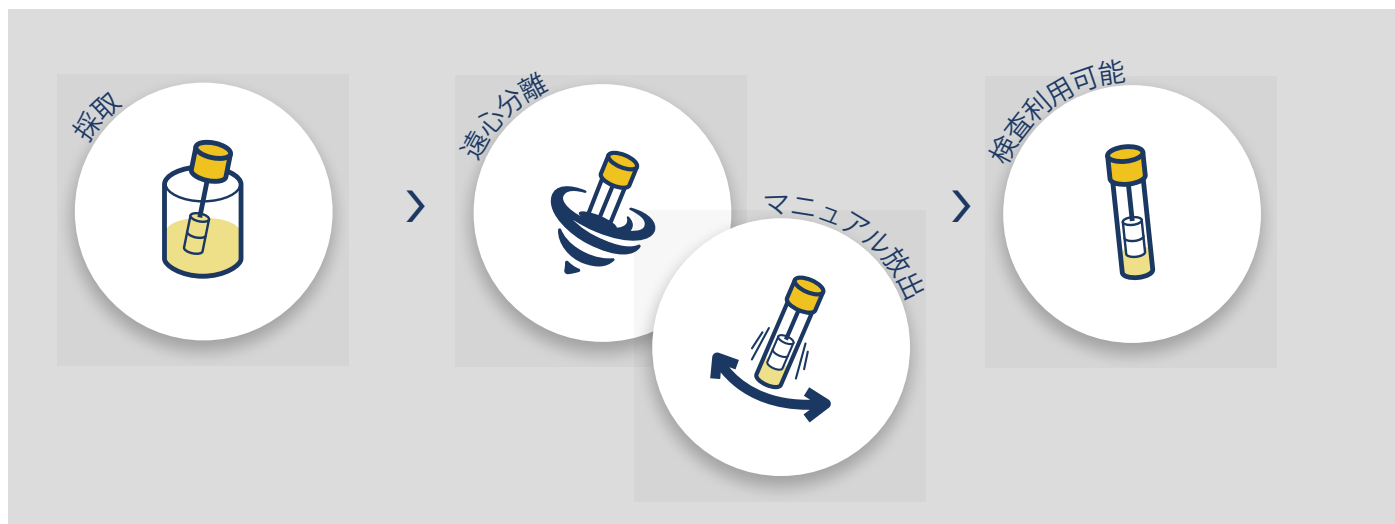
COPAN UriSponge™は、尿検体を採取、輸送および保存するためのシステムです。UriSponge™で採取された検体は、尿路感染症の原因菌である細菌や酵母を培養するため、臨床検査室の標準作業手順書（SOPs）に従って処理されます。

- ▶ 無針: 競合製品に比べ、UriSponge™はアドバンススポンジ（アプリケーター）の高い吸収力を利用して尿を採取するというシンプルな構造です。
- ▶ 実用性: スポンジが適量の初尿を素早く吸収します。検体量に対する制約はなく、医療用廃棄物を処理する必要がありません。

機能

- ▶ 高い特異性: UriSponge™はすぐに使用できます。スポンジ内部に防腐剤加工を施しており、輸送過程における微生物の過剰増殖や死滅のリスクを可能な限り抑えます。
- ▶ 汎用性の高いシステム: UriSponge™は、微生物学検体の処理を完全に自動化するモジュール式のオープンプラットフォームであるCopan WASP®との互換性が完全に確保されています。
- ▶ 信頼度の高いデザイン: 内側の円錐形は尿の遠心分離を可能にし、外側の円筒形によってデバイスを直立させることができます。UriSponge™には、液体漏れを防ぐリークプルーフシステムが搭載されています。
- ▶ 高い保存率を維持: UriSponge™は、冷蔵および室温で微生物の生存率を48時間まで保存できます。

検体ワークフロー



詳しくは取扱説明書をご覧ください。上記ピクトグラムはあくまでイメージです。



CLSI M40-A2基準に基づく UriSponge™による尿路感染症を引き起こす原因菌の回収率

<i>C. albicans</i> (ATCC® 24433)	<i>E. coli</i> (ATCC® 25922)
<i>E. faecalis</i> (ATCC® 29212)	<i>P. aeruginosa</i> (ATCC® 27853)
<i>P. mirabilis</i> (ATCC® 7002)	<i>S. saprophyticus</i> (ATCC® 15305)

UriSponge™による尿路感染症を引き起こすその他原因菌の回収率

<i>C. freundii</i> (ATCC® 8090)	<i>C. glabrata</i> (ATCC® MYA-2950)
<i>E. cloacae</i> (ATCC® 13047)	<i>M. morgani</i> (ATCC® 25829)
<i>S. agalactiae</i> (ATCC® 13813)	

*当デバイスを他の検査法や計器と組み合わせて使用する場合は、事前に検証を行ってください。